

都道府県立併設型中学校の入学者を決定する内容・決定方法

※各都道府県の入学者募集要項を参照

都道府県	適性検査・面接等の内容	入学者の決定方法
青森	<p>1 適性検査 志願者の思考力、判断力、表現力、問題解決能力などをみるための筆記試験とし、検査Ⅰ及び検査Ⅱ（それぞれ45分間）で構成する。 なお、外国語科（英語）に関する出題は行わない。</p> <p>2 面接 志願者の目的意識や学習に対する意欲などをみることとし、一人当たり7分程度の個人面接とする。</p>	<p>入学者の選抜は、小学校での学習や日常生活を通して身に付けた力、学習に対する意欲などを、筆記による適性検査、面接、調査書を組み合わせて、総合的に評価し、行うものとする。自己ピーアールは、志願者を理解するための資料とする。</p>
岩手	<p>1 適性検査Ⅰ・適性検査Ⅱ 思考力・判断力・表現力など、小学校の教育課程に基づく学習によって身に付けた総合的な力をみる。（各35分）</p> <p>2 適性検査Ⅲ （1）作文 自分の考えや意見をまとめ、筋道を立てて的確に文章で表現する力などをみる。（30分間） （2）放送を聞いて答える問題 話し手が伝えている内容を的確に捉える力をみるとともに、主体的に学びに向かう姿勢や、よりよい学校生活の実現に参画しようとする態度などをみる。（15分間）</p> <p>3 面接 自分の考えをわかりやすく伝えようとする表現力や、コミュニケーション能力などをみる。（受検者4～5人程度の集団面接 20分間程度）</p>	<p>県立中学校長は、選抜検査の結果により、入学志願者の意欲や適性検査等を総合的に判断して、入学予定候補者を決定する。なお、その決定に当たっては、小学校長が作成した調査書を参考にする。</p>
宮城	<p>1 基本原則 県立中学校長は、その教育を受けるに足る多様な能力と適性等を評価し、選抜するものとする。</p> <p>2 適性検査 ・検査は、総合問題、作文及び面接とする。 ・総合問題は、与えられた課題を理解し、これまでの体験や身に付けてきた力を基に、論理的に考え、的確に判断し、解決する力を表現する力等を見るものとする。 ・作文は、与えられた課題について、自分の考えや思いなどを的確にまとめ、文章で表現する力をみるものとする。 ・面接は、志願理由書を参考資料として、志願の動機や学習への関心・意欲、長所等を多面的にみるものとする。 ・総合問題（筆記）60分、総合問題（外国語（英語）のリスニング）（10分）、作文（40分）及び面接とする。</p>	<p>入学者の選抜に当たって、県立中学校長は、調査書及び適性検査の結果に基づき、出願者の能力や適性等を総合的に審査するものとする。</p>
秋田	<p>1 適性検査 適性検査は、時間は50分、県立中学校3校共通の問題である。内容は放送による検査を含む、国語・社会・算数・理科・外国語（英語）を合わせた総合的な内容であり、次の三つの力がみられるように配慮している。 ①聞いたり読んだりしたことから、必要な情報を取り出し、その意味を理解する力。 ②情報を自分の経験や教科で学んだことに関連付けて捉え、思考・判断できる力。 ③目的に応じて、自分の考えや意見を表現する力。</p> <p>2 作文 作文は、時間は45分、分量は500字程度、各県立中学校で出題内容が異なる。自らの経験や見聞を基に、目的や意図に応じて、文章の構成や表現を工夫して書く力がみられるように配慮する。</p> <p>3 面接 面接は、各県立中学校で学ぶのにふさわしい力をみるため、中学校によって、内容が異なる。「個人面接」又は「集団面接」若しくは「個人面接及び集団面接」とする。面接の時間は、個人面接が10分～15分程度、集団面接は15分～25分程度とする。</p>	<p>入学志願者全員について、適性検査、作文、面接を行い、その結果と入学願書及び各小学校で作成した報告書を資料として合格者を決定する。</p>
山形	<p>1 適性検査 課題を理解し、根拠に基づいて論理的に考え、適切に判断する能力、課題に対する自分の考えを表現する能力など、小学校等の教育課程に基づく学習によって身に付けた総合的な力を見る。検査時間は55分間とし、配点を100点とする。</p> <p>2 面接 志願の動機や学習への関心・意欲などを総合的にみる。15分間程度の集団面接を実施し、配点を15点とする。</p>	<p>入学許可予定者は、本校の基本理念を踏まえ、次に示す方法に従い、志願者の能力や適性等を総合的に判定し選抜する。 調査書並びに適性検査、作文及び面接の結果を主な資料とする。 次に示すとおり、AとBのそれぞれの満点が同じ比率となるよう、志願者の総合得点を算出する。 A＝第5学年の評定合計（最高27点）＋第6学年の評定合計（最高27点） B＝適性検査得点（配点100点）＋作文得点（配点35点）＋面接得点（配点15点） 総合得点＝$\frac{A}{54} \times 150 + B$ 調査書中の各教科の評定以外の記載にも留意する。</p>

都道府県	適性検査・面接等の内容	入学者の決定方法
福島	<p>1 適性検査 1 問題発見・解決能力、思考力、判断力、表現力等、小学校における教育において身に付けた総合的な力をみる。満点を 60 点とし、実施時間は 60 分とする。</p> <p>2 適性検査 2 与えられた課題について考えたことや感じたことなどを文章等で表現する力をみる。満点を 40 点とし、実施時間は 60 分とする。</p> <p>3 面接 志願者の目的意識、意欲や長所等をみる。志願者を多面的に評価するための資料の一つとして、面接の結果を積極的に活用する。</p> <p>4 調査書 調査書の成績は、「各教科の学習の記録」の評定について、各教科の第 5 学年及び第 6 学年の評定を合計して、54 点満点とする。</p>	<p>県立中学校長は、適性検査 1 及び適性検査 2 の成績、面接の結果並びに調査書を資料として選抜を行う。ただし、県立中学校長が、学校の特色により必要と判断する場合には、志願理由書を資料として用いることができる。</p> <p><選抜の手順></p> <p>適性検査 1 及び適性検査 2 の成績の合計並びに調査書の成績のいずれもが定員内にある者で、かつ調査書の記載事項及び面接の結果に特に問題のない者を入学予定者とし、次にその他の者については、適性検査 1 及び適性検査 2 の成績、調査書の記載事項並びに面接の結果を十分に精査して、総合的に判定し、入学予定者を決定する。ただし、学校の特色に応じて、上記によらず適性検査 1 及び適性検査 2 の成績、調査書の記載事項並びに志願理由書及び面接の結果を十分に精査して、総合的に判断し、入学予定者を決定することも可能である。</p>
茨城	<p>1 適性検査 I (45 分間) 小学校で学習した内容を基に、思考力、判断力及び課題を発見し解決する力などをみる。</p> <p>2 適性検査 II (45 分間) 文章や資料を基に、読解力、分析力及び自分の考えを表現する力などをみる。</p> <p>3 面接 (1 グループ 20 分間程度) 5 人程度を 1 グループとした集団面接とし、学習への意欲や 6 年間一貫の学校生活への適性などをみる。</p> <p>※県立中学校及び県立中等教育学校の入学選抜に係る適性検査問題の出題内容については、小学校学習指導要領に基づくものとする。</p>	<p>県立中学校長及び県立中等教育学校長は、調査書及び志願理由書の内容並びに適性検査 I、適性検査 II 及び面接の結果を総合的に判断して、合格者を決定する。</p>
栃木	<p>1 適性検査 課題解決能力、思考力、表現力など、小学校の教育課程に基づく日常の学習によって身に付けた総合的な力をみるものとする。50 分間の筆記検査を実施する。</p> <p>2 作文 課題や資料などに対して、自分の考えや意見をまとめ、筋道を立てて的確に文章で表現する力などをみるものとする。45 分間で実施する。</p> <p>3 面接 自分の考え等を表現する力や 6 年間の一貫教育で学ぶ意欲、適性などをみるものとする。</p>	<p>適性検査、作文及び面接の実施結果並びに学習や生活の記録を資料とし、当該学校で学ぶ意欲や適性等があると総合的に判断される者を入学予定者として決定するものとする。</p> <p>適性検査は、100 点満点とする。作文及び面接は A、B 及び C の 3 段階で評価する。学習や生活の記録の「各教科の学習の記録」の評定は、54 点満点とする。</p>
埼玉	<p>1 第一次選考 (1) 作文 県立中学校長は、小学校学習指導要領に示された内容の範囲から、学校の特色等を踏まえ、作文の内容を定める。作文は以下の 2 問を出題し、時間は各 50 分間とする。 作文 I：思考力及び表現力をみる作文 ※放送による音声（英語）を聴取して、日本語で表現する内容を含む。 作文 II：課題を発見し、解決する力をみる作文</p> <p>2 第二次選考 第二次選考は個人面接とし、時間は 1 人 10 分間程度とする。</p>	<p>1 第一次選考 選考委員会は、第一次選考で実施した作文の結果を資料とし、中高一貫教育を希望する受験者の意欲や適性等を総合的に判断して、第二次選考受験候補者の選考を行う。 県立中学校長は、選考委員会の選考をもとに、第二次選考受験候補者を決定する。 なお、第二次選考受験候補者の人数は 200 人程度とする。</p> <p>2 第二次選考 第二次選考の結果及び第一次選考で実施した作文の結果、並びに小学校長が作成した「調査書」を資料とし、中高一貫教育を希望する受験者の意欲や適性等を総合的に判断して、入学許可候補者の選考を行う。</p>

都道府県	適性検査・面接等の内容	入学者の決定方法
千葉	<p>1 一次検査 小学校で学習した内容をもとにして、県立中学校で行われる学習活動への適性をみる。</p> <p>(1) 適性検査1-1 (45分間) 与えられた文章や図・表等の資料を読み取り、課題をとらえ、解決に向けて筋道立てて考え、表現する力をみる。</p> <p>(2) 適性検査1-2 (45分間) 自然科学的・数理的な分野において、課題をとらえ、解決に向けて筋道立てて考え、表現する力をみる。</p> <p>2 二次検査 小学校で学習した内容をもとにし、経験から身に付けたことを踏まえて、県立中学校で行われる教育活動への適性をみる。</p> <p>(1) 適性検査2-1 (45分間) 課題を設定する力、資料等を活用する力、解決のための計画・実行する力、自分の考えや意見を筋道立てて表現する力をみる。</p> <p>(2) 適性検査2-2 (45分間) 聞き取った内容や読み取った内容から、課題を明確にし、経験に基づき、自分の考えや意見を筋道立てて表現する力をみる。</p> <p>(3) 面接等 集団面接を行う。千葉県立東葛飾中学校は、プレゼンテーション的内容を含む。</p>	<p>1 一次検査の決定方法 一次検査の結果を資料とし、各中学校の校長からあらかじめ定めた方法により二次検査受検候補者を決定する。なお、二次検査受検候補者は募集定員（男女同数を基本とする。）の4倍程度とする。</p> <p>2 二次検査の内定方法 小学校の校長が作成した報告書、志願者から提出された志願理由書等の書類の審査並びに一次検査及び二次検査の結果を資料とし、各中学校の校長があらかじめ定めた方法により、各中学校で行う学習活動への適性等を総合的に判定して、入学許可候補者を内定する。</p>
東京	<p>1 検査内容 各校の特色に照らし、入学を希望する児童の将来の進路に対する目的意識、6年間の一貫教育の中で学ぼうとする意欲、課題発見・解決能力、集団への適応性等、中高一貫教育校で求められる適性をみるとともに創造力や協調性をみるものとする。</p> <p>2 検査等の方法 入学決定に際して、各都立中学校長は、小学校長から提出された報告書と、面接、作文、適性検査（共同作成問題及び各校独自問題）及び実技検査（以下「適性検査等」という。）のいずれかを適切に組み合わせて実施する。</p> <p>3 出題の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教育課程に基づく日常の学習活動の成果や中高一貫教育校において学ぶ意欲、適性を検査することを基本とする。 ・出題の内容は、教科横断的な力や課題発見・解決能力などをみるものとする。 ・出題に当たっては、各校の特色や育てたい生徒の姿に照らし、6年間の学習活動への適応力や創造力等をみることができるようにする。 	<p>都立中学校長は、特別枠募集及び一般枠募集ともに、小学校長から提出された報告書及び検査等の結果により入学者の決定を行う。</p>
石川	<p>総合適性検査Ⅰは読解力や表現力等、言語に関する力を、総合適性検査Ⅱは問題解決力や思考力等、自然や社会、数理に関する力をみる内容とする。また、面接については、個人面接を実施する。</p> <p>選抜に当たっては、6年間一貫した併設型中高一貫教育を行う県立中学校の教育目標等を踏まえ、志願者の能力・適性等を審査するものとする。 ※総合適性検査Ⅰ（55分）、総合適性検査Ⅱ（55分）</p>	<p>小学校長から提出される調査書並びに中学校において実施する選抜のための総合適性検査Ⅰ、Ⅱ及び面接の結果を資料として、総合的に判定する。</p>
福井	<p>1 適性検査Ⅰ 配点100点 検査時間50分 文章の内容や筆者の考えを読み取り、論点や自分の考えを表現する力をみる。</p> <p>2 適性検査Ⅱ 配点100点 検査時間50分 数量や図形について論理的に考察し、表現する力をみる。</p> <p>3 適性検査Ⅲ 配点100点 検査時間50分 資料やデータから自然現象や社会現象を考察し、表現する力をみる。</p> <p>4 面接 配点50点 面接時間15分程度 自らの考えを自分の言葉で表現したり、コミュニケーションをはかろうとしたりする姿勢をみる。</p>	<p>小学校長から提出された調査書及び適性検査等の成績を資料として、県立中学校の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力、適性等を判定した上で、入学者を選抜する。ただし、調査書は参考資料とする。</p>

都道府県	適性検査・面接等の内容	入学者の決定方法
長野	<p>1 適性検査の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領に基づき、県立中学校入学後の学習や生活に取り組んでいく上で必要な適性を検査することを基本とし、入学後に求められる思考力、判断力、表現力等をみることができるものとする。 ・適性検査Ⅰでは、主として社会や人に対する関わりをみることとし、文章や資料（図表、地図、グラフ等）の内容を読み取り、背景にある法則性に気付いたり、自分の考えをまとめて文章で表現したりする力をみる。また、読み取った内容から課題を明確にし、適切な解決方法を考え、多様な方法により表現する力をみる。（50分間） ・適性検査Ⅱでは、主として自然や数理に対する関わりをみることとし、自然科学や数理的な場面設定の中で、科学的に探究する意欲、見通しをもち筋道を立てて考える力、数理的に処理する力をみる。また、自然科学の事象について、観察や実験などにより課題を解決していく力をみる。（50分間） ・適性検査Ⅰ及び適性検査Ⅱの内容については、小学校6年生の11月までに学習した内容を基にしたものとし、ともに筆記による検査とする。 <p>2 面接の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団面接とし、1グループの人数は6人以下を目安とする。 ・面接時間は、1グループ当たり概ね20分間を目安とする。 ・面接は、志望理由や学習への関心・意欲、集団生活への適応等をみるものとする。 	<p>○県立中学校長は、県立中学校の教育理念、教育目標、目指す生徒像及び入学後に必要な適性等が備わっているかの観点から、以下の「選抜資料（※）」に定めた資料に基づき総合的に判定し合格者を決定すること。</p> <p>※選抜の資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野県教育委員会が実施する選抜のための適性検査の結果 ・志願者の在籍小学校長から提出された報告書の内容 ・志願者に対し実施する面接の結果 <p>○選抜にあたっては、次の手順により行うものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適性検査Ⅰ及び適性検査Ⅱは、それぞれ100点満点とし、計200点満点とする。 ・報告書の、各教科の学習の記録は、第5学年及び第6学年の評定を合計して、54点満点とする。 ・報告書は、各教科の学習の記録のみにとらわれず、総合的な学習の時間の記録等、総合して選抜の資料とする。 ・面接の結果は、A、B又はCの3段階で評価する。 ・適性検査の得点と報告書の評定合計点に、報告書の記載事項及び面接の結果を加味し、総合的に判定するものとする。
静岡	<p>1 総合適性検査（総合適性検査Ⅰ 50分間、総合適性検査Ⅱ 50分間）120点 生活の中での事柄・事象等を題材とし、主として、理解力、思考力や課題を発見し多様な方法で解決する力をみる。 ただし、学習指導要領の外国語科及び外国語活動において育成すると定められた資質・能力を問う問題については、令和3年度入学選抜においては出題しないこととする。</p> <p>2 作文（50分間）30点 現実の生活や想像の世界での事柄・事象等、また、それらについて述べた文章等を題材とし、主として、考えたことや感じたこと等を文章で表現する力をみる。</p> <p>3 面接 20点 個人面接及び集団面接をとおして、主として、学習や諸活動等への関心・意欲・態度、思考力、判断力をみる。</p>	<p>選抜の基本方針に基づき、次の(1)から(3)までの手順に従って審査し、合格者を順次決定する。</p> <p>(1) 主として、総合適性検査、作文及び面接の結果により、募集定員の70%程度の合格者を決定する。</p> <p>(2) 上記(1)による合格者を除き、主として調査書の各教科の学習の記録、総合的な学習の時間の記録、特別活動の記録及び諸活動の記録等により、募集定員の15%程度の合格者を決定する。</p> <p>(3) 上記(1)及び(2)による合格者を除き、総合適性検査、作文、面接の結果及び調査書等の総合審査により、募集定員の15%程度の合格者を決定する。</p>
滋賀	<p>1 作文 考えたことや感じたことを論理的に表現する力、ものごとを科学的に探究する力等をみる。（40分間）</p> <p>2 適性検査 課題を見つけよりよく問題を解決する力、分析したことなどを説明する力等をみる。（40分間）</p> <p>3 面接（集団） 出願者の意欲、目的意識、興味・関心等をみる。</p>	<p>出願先中学校長は、個人調査報告書、作文、適性検査及び面接の結果について総合的な評価を行ったうえで入学許可予定者を決定するものとする。</p>

都道府県	適性検査・面接等の内容	入学者の決定方法
京都	<p>1 出題の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適性をみる検査は、小学校学習指導要領に即した範囲の総合問題とする。 ・小学校学習指導要領に示された各教科の観点や学習内容を基に、基本的な知識内容の理解や技能の習得の程度、思考力、判断力、表現力、創造力等、児童の多様な能力や適性をみる。 ・資料や図表、解説文等を用いて、文章や図表、数式等による記述の課題を設ける。その中で、さまざまな観察や考察、分析を行い、知識や技能を総合的に活用して考え、判断し、自分の考えを的確に表現できるかをみる。 <p>2 出題の概要</p> <p>(1) 適性をみる検査Ⅰ</p> <p>提示された文章について、筆者の考えを的確に読み取り、内容及び表現や言葉の意味・用法等について正確に理解し、要約するなどの作業を行う。提示された課題に対して、自分の考えを的確にまとめ、文章で表現する。</p> <p>(2) 適性をみる検査Ⅱ</p> <p>図表やグラフ、資料等を的確に読み取り、社会的な事象及び自然の事物や現象の特徴を把握し、科学的・論理的な思考に基づいて課題解決に向けた考察等を行う。社会的な見方や考え方、科学的な見方や考え方などを基に、課題に対して多面的・多角的に考え、判断し、適切に表現する。</p> <p>(3) 適性をみる検査Ⅲ</p> <p>数量や図形に関する課題に対し、見通しをもち筋道を立てて分析や考察を行う。課題解決に当たり、合理的・論理的な思考により、式や計算を用いて課題を的確に処理するとともに、文章や図表、数式等で表現する。</p>	<p>中学校長は、報告書、面接等の結果を資料とし、これらを総合的に判断の上、合格者を決定するものとする。</p>
大阪	<p>1 適性検査等（咲くやこの花）</p> <p>選抜のための適性検査等として、適性検査Ⅰ、適性検査Ⅱ及び作文（自己表現）を行い、その総合点（150点満点）により選抜を行う。</p> <p>(1) 適性検査Ⅰ（国語・算数的問題）は、小学校で習得される基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力をみる。「ものづくり（理工）」、「スポーツ」、「言語」、「芸術（美術・デザイン）」のすべての分野で共通の問題とする。（45分50点満点）</p> <p>(2) 適性検査Ⅱは、「ものづくり（理工）」、「スポーツ」、「言語」、「芸術（美術・デザイン）」のそれぞれの分野に関する才能の芽生え等をみる。（60分80点満点）</p> <p>ア ものづくり（理工）分野については、数学的な見方や考え方をみる。</p> <p>イ スポーツ分野については、基礎運動能力をみる。検査項目は、府教育委員会の併設型中高一貫校に関するウェブページに掲載する。</p> <p>ウ 言語分野については、文章による表現力をみる。</p> <p>エ 芸術（美術・デザイン）分野については、色鉛筆を用いての表現力（描画）をみる。</p> <p>(3) 作文（自己表現）は、300字程度とし、志願者の志望動機や興味・関心等をみる。（15分20点満点）</p> <p>2 適性検査等（水都国際）</p> <p>選抜のための適性検査等として、適性検査Ⅰ、適性検査Ⅱ及び作文（自己表現）を行い、その総合点（150点満点）により選抜を行う。</p> <p>(1) 適性検査Ⅰ（国語・算数的問題）は、小学校で習得される基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等をみる。（45分50点満点）</p> <p>(2) 適性検査Ⅱは、物事を多面的に深く思考し、論理的に表現する力等をみる。（60分80点満点）</p> <p>(3) 作文（自己表現）は、300字程度とし、英語の学習に対する意欲や興味・関心等をみる。（15分20点満点）</p> <p>3 適性検査等（富田林）</p> <p>選抜のための適性検査等として、適性検査Ⅰ、適性検査Ⅱ及び作文を行い、その総合点（360点満点）により選抜を行う。</p> <p>(1) 適性検査Ⅰ（国語的問題）、適性検査Ⅱ（社会・理科的問題）及び適性検査Ⅲ（算数的問題）は、小学校で習得される基礎的・基本的な知識・技術、思考力・判断力・表現力等をみる。（各45分 各100点満点）</p> <p>(2) 作文は、400字程度とし、中高一貫校で6年間学び続けていくことができる意欲・適性及び自らの考えや意見を論理的かつ適切に表現する力等をみる。（30分60点満点）</p>	<p>適性検査及び作文の成績を選抜の資料とし、その総合点により選抜を行う。</p> <p>合格者の決定に当たっては、総合点の高い者から順に、募集人員を満たすよう合格者を決定する。ただし、咲くやこの花中学校においては、分野ごとに、募集人員を満たすよう合格者を決定する。</p>

都道府県	適性検査・面接等の内容	入学者の決定方法
奈良	<p>1 適性検査1 (100点満点) 主として言語や社会に関する内容とし、文章や資料(図表、地図、グラフ等)を読む力、自分の考えをまとめて言語で表現する力等をみる。</p> <p>2 適性検査2 (150点満点) 主として自然や数理に関する内容とし、筋道を立てて考える力、数理的に処理する力、観察や実験等から課題を解決していく力等をみる。</p> <p>3 適性検査3 (20分程度30点満点) 提示されたテーマの内容を聴き取って要約し、それについての自分の考えや意見をグループ内で発表することで、思考力、表現力等をみる。</p> <p>※適性検査の出題範囲は、小学校学習指導要領に基づく。</p>	<p>県立中学校長は、適性検査1、適性検査2及び適性検査3の結果により、志願者の意欲や適性等を総合的に判断して合格者を決定する。決定に当たっては、小学校長が作成した調査書も参考にする。</p>
和歌山	<p>1 適性検査Ⅰ・Ⅱ(各45分 各100点満点) 小学校で学んだ基礎的な力に基づき、自然や身近なことがらについて、考えたり、まとめたりする。</p> <p>2 作文(45分50点満点) 与えられたテーマについて自分の考えを600字程度にまとめる。</p> <p>3 面接 一人5分程度の個人面接方式により実施する。</p>	<p>・選考の原則 県立中学校長は、適性検査Ⅰ・Ⅱ、作文の検査及び面接の結果並びに小学校長が作成した調査書を資料とし、志願者の意欲や適性等を総合的に判断して入学予定候補者を決定する。</p>
岡山	<p>1 適性検査 思考力や思考過程、判断力、表現力など、小学校等の教育において身に付けた総合的な力をみるため、次の検査を行う。いずれの適性検査も、各中学校及び中等教育学校に共通する内容と学校独自の内容からなるものとする。</p> <p>(1) 適性検査Ⅰ 身のまわりの事象や自然の現象等を題材としたもの(45分間)</p> <p>(2) 適性検査Ⅱ 日常生活や社会的事象に関する文章や資料等を題材としたもの(45分間)</p> <p>2 面接 志願者の意欲や適性等を多面的にみるため、集団面接を行う。</p>	<p>選抜に当たっては、小学校等の校長から提出される調査書、適性検査及び面接の結果を資料として、総合的に判断する。</p>
広島	<p>1 広島中学校及び三次中学校</p> <p>(1) 選抜の方法</p> <p>ア 適性検査</p> <p>(ア) 次により、小学校教育において身に付けた総合的な力を検査する。</p> <p>a 適性検査1 文章・資料をもとに、課題を発見し解決する過程を多様な方法で表現する。</p> <p>b 適性検査2 テーマ等に基づき、思ったことや考えたこと等を文章で表現する。</p> <p>(イ) 実施時間は、中学校長が決定する。</p> <p>広島中学校 適性検査1 50分 110点満点、適性検査2 45分 100点満点 三次中学校 適性検査1 45分 100点満点、適性検査2 45分 100点満点</p> <p>イ 志望理由書 ウ 調査書</p> <p>2 広島叡智学園中学校</p> <p>(1) 選抜の方法</p> <p>ア 第1次選抜</p> <p>(ア) 適性検査</p> <p>a 次により、小学校教育において身に付けた総合的な力を検査する。</p> <p>(a) 適性検査A 資料から情報を読み取り、条件等に従って筋道を立てて考え、推論する。</p> <p>(b) 適性検査B 資料を多面的に解釈し、経験や知識と結び付けて発想・考察する。</p> <p>b 実施時間は、中学校長が決定する。</p> <p>適性検査A 45分 100点満点、適性検査B 100点満点</p> <p>(イ) 面接 (ウ) 志望理由書及び自己紹介書 (エ) 調査書</p> <p>イ 第2次選抜</p> <p>第1次選抜における通過者を対象に、2泊3日の共同生活において、次により実施する。</p> <p>(ア) グループワーク (イ) 面接 (ウ) 共同生活の振り返り</p>	<p>左記の結果を総合的に判断して決定する。</p>
山口	<p>選考検査においては、面接、記述式の課題1及び記述式の課題2を実施する。</p> <p>1 面接(個人面接)</p> <p>2 記述式の課題1 →資料をもとに考えたこと等を問う内容とする。</p> <p>3 記述式の課題2 →資料をもとに考えたこと等を問う内容とする。</p>	<p>県立中学校の校長は、調査書、選考検査の結果により入学予定者を決定する。</p>

都道府県	適性検査・面接等の内容	入学者の決定方法
徳島	<p>1 適性検査 自己の考えや意見を表現する力や、課題を発見し、追究し、解決する力など、小学校教育において身に付けた多様な力をみるために、次の検査を行う。</p> <p>(1) 検査Ⅰ (45分間 100点満点) 資料等から読み取った内容や情報をもとに、自己の考えをまとめ、文章等で表現する。</p> <p>(2) 検査Ⅱ (50分間 200点満点) 生活に関連する事柄等について、課題を見だし、多様な解決方法を考え、その解決を図る。</p> <p>2 面接 個人面接又は集団面接のいずれかを実施する。</p>	<p>各県立中学校長は、調査書、適性検査の成績及び面接の結果を資料として、志願者の意欲や適性等を総合的に判定し、入学予定者を選抜する。</p> <p>なお、調査書は、「各教科の学習の記録」の各教科について、第5学年及び第6学年の評定値合計を1.5倍して81点満点、「特別活動の記録」及び「行動の記録」の○印を1つ1点として28点満点、計109点満点とする。また、それ以外の記載についても十分精査し、資料とする。</p>
香川	<p>1 適性検査及び面接の実施方法等 適性検査は、適性検査Ⅰ(作文)と適性検査Ⅱ(問題を発見し、筋道を立てて考えようとする態度・能力などを問うもの)に分けて実施する。普段の小学校での教科の学習や総合的な学習の時間での学習を大切にしてほしいと考えている。</p> <p>(1) 適性検査Ⅰ(作文)(40分) 与えられたテーマについて、自分の考えをまとめ、文章で表現する力をみる。</p> <p>(2) 適性検査Ⅱ(問題を発見し、筋道を立てて考えようとする態度・能力などを問うもの)(50分) 日常生活における身近なことがらに対して、問題を発見し、原因や解決の仕方などを様々な方法で筋道を立てて考えようとする態度・能力や、小学校時代に身に付けた教科横断的な力をみる。</p> <p>2 面接 個人面接とし、志願の理由や進路に関する事、小学校時代の学校内外での活動に関する事などについて質問する。</p>	<p>中学校長は、適性検査及び面接の結果並びに小学校長の作成する調査書を資料とし、中高一貫教育を希望する入学志願者の意欲や適性等を総合的に判断して入学予定者の選抜を行う。</p> <p>面接の結果や調査書は点数化せず、長所をみることとし、適性検査の評価とあわせて、総合的に選抜する。</p>
高知	<p>1 適性検査及び作文</p> <p>(1) 適性検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適性検査A及び適性検査Bを行い、基礎的・基本的な学習内容の定着をみる問題と思考力・判断力・表現力をみる問題の両方を出題し、中高6年間の一貫した教育活動を受けるのに十分な適性を有する人物であるかどうかをみるものとする。 ・適性検査Aは、主として言語・コミュニケーションや社会生活における適性をみる問題を出題する。適性検査Bは、主として数理や自然科学における適性をみる問題を出題する。 ・出題範囲は、小学校で学習するすべての内容とする。ただし、小学校の年間指導計画等を考慮したものとする。 ・検査時間は、適性検査A・B各45分、計90分とする。 <p>(2) 作文 字数は400字程度、時間は45分とする。</p> <p>2 面接 面接は、志願理由書を参考に、志願の動機や学校生活への期待、将来の希望に関する事等について質問する。</p>	<p>各県立中学校長は、検査等及び面接の結果並びに志願理由書を資料とし、入学志願者の意欲や目的意識等を総合的に判断して、入学予定者を選ぶ。</p>
福岡	<p>1 作文(40分) 身の回りのいろいろな事柄に対して課題意識を持ち、自ら考え分かりやすく表現しようとする態度や能力などを評価する。筆記により実施。</p> <p>2 適性検査(50分) 身の回りのいろいろな事柄に対して課題意識を持ち、自ら考え解決しようとする態度や能力などを評価する。筆記により実施。</p> <p>3 面接 中高一貫教育校で学ぶ意欲や目的意識、小学校6年間を通しての生活や学習の状況などを尋ねる。集団面接により実施。</p>	<p>作文、適性検査及び面接の結果を総合的に判断し、各中学校長が入学予定者及び補欠入学予定者を決定する。なお、その決定に当たっては、調査書の記載事項を十分考慮する。</p> <p>なお、調査書については、「各教科の学習の記録」や「行動の記録」、「総合所見」欄によって、志願者の優れている点や長所を選考に反映させる。</p>

都道府県	適性検査・面接等の内容	入学者の決定方法
佐賀	<p>1 適性検査 適性検査Ⅰ、Ⅱは、次のような観点で実施する。※音声放送を用いた検査は、行わない。</p> <p>(1) 適性検査Ⅰ 生活の中で起こるいろいろなできごとについて、自分ならどうするかを考え、それを人に分かりやすく伝える能力を総合的にみる。</p> <p>(2) 適性検査Ⅱ 身の回りのいろいろなことがらに対して、興味や関心をもち、自分自身で問題を発見し、筋道を立てて解決しようとする態度や能力などを総合的にみる。</p> <p>2 面接 面接は集団面接とし、各県立中学校の計画により受検者全員を対象として行う。</p> <p>3 各検査等の配点</p> <p>(1) 香楠中学校 適性検査Ⅰ 50点、適性検査Ⅱ 50点、調査書 50点 (1グループ5人程度の集団面接 評価は3段階)</p> <p>(2) 到遠館中学校 適性検査Ⅰ 40点、適性検査Ⅱ 60点、調査書 70点 (1グループ5人程度の集団面接 評価は4段階)</p> <p>(3) 唐津東中学校 適性検査Ⅰ 50点、適性検査Ⅱ 60点、調査書 60点 (1グループ5人程度の集団面接 評価は3段階)</p> <p>(4) 武雄青陵中学校 適性検査Ⅰ 40点、適性検査Ⅱ 60点、調査書 60点 (1グループ5人程度の集団面接 評価は3段階)</p> <p>※調査書の配点には、面接の評価も含む。</p>	<p>各県立中学校は、適性検査、面接の結果及び調査書を総合的に審査し、入学者選抜を行う。また、面接は調査書と併せて評価する。</p> <p>ただし、適性検査Ⅰ、Ⅱ及び面接のうちどれか一つでも受けていない志願者は、審査の対象外とする。</p>
長崎	<p>1 検査の方法及び配点</p> <p>(1) 適性検査 (60分130点満点) 学校での生活や家庭や身の回りのことなどをテーマとして、学習指導要領に沿った、問題発見・解決能力、思考力、判断力及び表現力等、小学校教育において身に付けた総合的な力をみる。</p> <p>(2) 作文 (40分70点満点) 与えられた課題について、読み取ったことや考えたり感じたりしたことをまとめ、文章で表現する力をみる。</p> <p>(3) 面接 集団面接とする。</p>	<p>県立中学校長は、小学校長から提出された調査書その他必要な書類及び検査の成績等を資料として、入学予定者を選抜する。</p> <p>選抜は、適性検査、作文及び面接の結果並びに調査書その他必要な書類を資料として、志願者の適性を総合的に判断して行うものとする。</p>
熊本	<p>1 適性検査 小学校等における教育活動を通して身に付けた基礎的な知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力及び表現力等について、総合的な力をみる。適性検査は、適性検査Ⅰ、適性検査Ⅱに分類する。</p> <p>(1) 適性検査Ⅰ 国語領域、社会領域に基づいた適性検査問題とする。検査時間は、50分とし、80点満点とする。</p> <p>(2) 適性検査Ⅱ 算数領域、理科領域に基づいた適性検査問題とする。検査時間は、50分とし、80点満点とする。</p> <p>2 面接 面接は、集団面接又は個人面接とし、6年間の一貫教育で学ぶ意欲及び適性等をみる。20点満点とする。 なお、面接内容及び方法等については、各県立中学校長が決定する。</p>	<p>県立中学校長は、適性検査、面接の結果及び調査書その他必要な書類を資料とし、総合的に判断して入学予定者を決定する。</p> <p>ただし、調査書その他必要な書類については、参考とする。</p>
大分	<p>1 適性検査 学習活動への適応能力、学ぶ意欲や適性をみるために次の検査を行う。</p> <p>(1) 適性検査Ⅰ (50分) 小学校6年間で身に付けた知識及び技能並びに思考力、判断力、表現力等をもとにして、文章や図表等から読み取ったり聞き取ったりした内容について、自分の考えをまとめ、表現する力等を総合的にみる。</p> <p>(2) 適性検査Ⅱ (50分) 小学校6年間で身に付けた知識及び技能並びに思考力、判断力、表現力等をもとにして、身の回りのいろいろな事象に対して、課題を発見し、筋道を立てて考え解決する力等を総合的にみる。</p> <p>2 面接 面接の方法及び内容については、県立中学校長が決定する。</p>	<p>県立中学校は、調査書、適性検査及び面接の結果を資料として行う選抜に基づいて入学予定者を決定する。</p>

都道府県	適性検査・面接等の内容	入学者の決定方法
宮崎	<p>1 適性検査（第1部 50分、第2部 50分） 問題解決能力、思考力、判断力など、小学校の教育課程に基づく日常の学習により身に付けた総合的な力をみる。</p> <p>2 作文 課題文や資料などの読み取り、聞き取りなどをもとに、理解力や表現力などをみる。</p> <p>3 面接 集団面接</p>	<p>入学者の選抜は、調査書その他必要な書類及び選抜検査の結果を資料として行う。</p>
鹿児島	<p>1 適性検査 (1) 出題の方針 適性検査問題は、楠集中学校の求める生徒像を踏まえたものとする。</p> <p>ア 適性検査Ⅰ（言語に関する内容）（45分間） 文章や資料を正確に読み取る力をみるとともに、目的や意図に応じた文章を書くことで、情報を選択し、それらを構成して的確に書く力、また、豊かな発想により多様な視点から考える力をみる。</p> <p>イ 適性検査Ⅱ（自然や社会、数理に関する内容）（45分間） ・複数の資料を分析・考察する力と課題解決に至る過程を筋道を立てて表現する力をみる。 ・自分の考え・見方を論理的に表現し、分かりやすく記述する力をみる。 ・身の回りの現象や環境などに興味・関心をもち、自分が学んだことと関連づけて考える力をみる。</p> <p>2 面接（個人面接又は集団面接） ・質問事項、評価項目及び方法等については、中学校で定める面接の方針に従って、十分検討して決定するものとする。 ・面接の実施に当たっては、入学志願者の人権に十分配慮しなければならない。 ・面接の結果は、選抜の一資料として用いることができるものとする。</p>	<p>選抜は、県立中学校の求める生徒像に照らし、その教育を受けるに足る能力・適性等を慎重に判定して行う。 適性検査、面接の結果及び調査書、その他必要な書類等を資料として、総合的に判断する。</p>
沖縄	<p>1 適性検査 適性検査は、「適性検査Ⅰ」、「適性検査Ⅱ」に分類し、小学校の学習内容の定着度、課題発見・課題解決の力等をみる。 「適性検査Ⅰ」は教科「国語」・「社会」の内容を含む検査問題（50分） 「適性検査Ⅱ」は教科「算数」・「理科」の内容を含む検査問題（50分）</p> <p>2 面接 個人又は集団面接を行い、6年間の一貫教育で学ぶ意欲及び適性等をみる。 なお、県立中学校によっては、面接のかわりに志願理由書等を書かせる場合がある。</p> <p>3 学校独自検査・作文等 適性検査・面接に加えて、学校独自に実施する場合がある。実施の有無や内容については各県立中学校長が決定する。</p>	<p>県立中学校長は、志願者の在籍する小学校長から提出された調査書及び検査等の結果、その他必要と定めた書類を資料として、総合的に判断し、入学予定者の決定を行う。 ただし、検査等のうちどれか一つでも受検していない志願者は、審査の対象外とする。</p>